

赤ちゃんの手がた・足がたを採ろう！

赤ちゃんの記念レリーフづくり

一万年の祈り 縄文人のココロ・現代人のココロ

子どもの成長を記録した記念レリーフづくりに参加してみませんか？

いつの間にか大きくなってしまふ子どもの小さな手足、いつまでも覚えていたいと思うもの。実は数千年前の縄文人たちも同じことを想っていたようで、幼児の手や足を粘土に押し付けて焼き上げた土製品が遺跡からみつかることがあります。

子どもが生まれたときの感動や初めて立ち上がったときの喜びなど、子どもの健やかな成長を願う親の気持ちは、縄文人も現代人も同じですね。

皆さまからのお申込みをお待ちいたしております。

- 素材は陶芸用の陶土です
- 仕上がりは素焼きの陶器です
- 焼成後は約15%縮小します
- 焼成後の色調は黄褐色です
- 乾燥～焼成を行い作品が完成するまでに約2ヵ月かかります



完成見本



規格目安

●日時 2024年11月3日(文化の日)13:30～

●会場 えさし郷土文化館 体験棟

●講師 陶芸家 太田 茂樹 先生

●内容 赤ちゃん(0～3歳児まで)の手型・足型を粘土で採取する記念レリーフづくり

※作品は2～3週間かけて自然乾燥させて素焼きを行うため、作品がお手元に届くまでに1ヵ月半～2ヵ月程度かかります。あらかじめご了承ください。引き渡しは当館にて行います。

●定員 20名(定員となり次第、募集を締め切らせていただきます)

●料金 2,000円

●受付 お電話にてお申込みを受け付けます

☎0197(31)1600